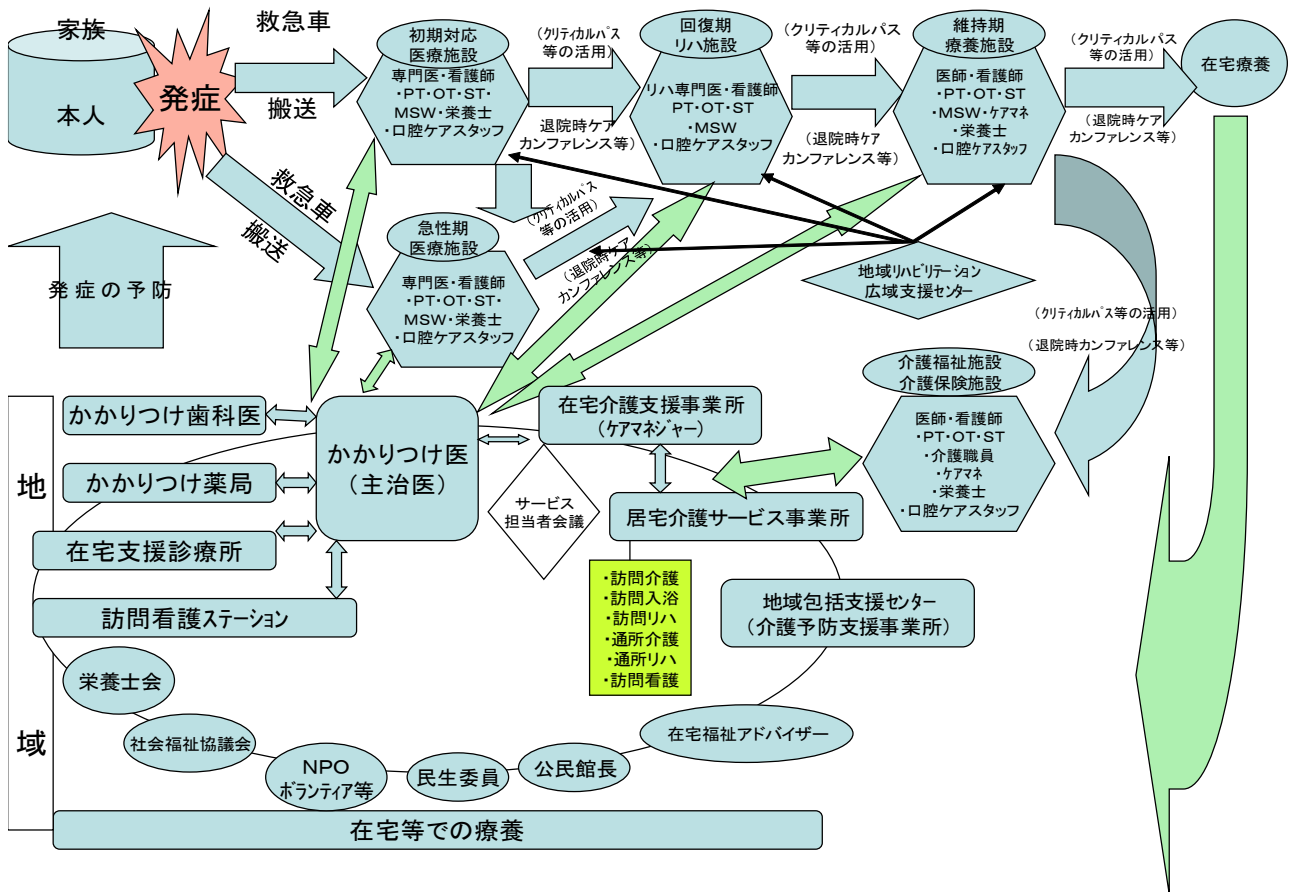


【図表資-5-50】南薩保健医療圏 脳卒中の医療連携体制図



[南薩地域振興局作成]

【図表資-5-51】南薩保健医療圏 脳卒中の医療機能基準

	救急搬送	救急		回復期 リハ施設 C	維持期	
		初期対応 医療施設 A	急性期 医療施設 B		療養施設 D	在宅かかりつけ医 E
目標	・適切な機関への速やかな搬送	・初期対応（救急診断）	・診断，超早期からの専門的治療 ・早期リハ	・機能回復 ・生活への復帰	・生活の中でのリハ ・在宅復帰支援	・在宅生活継続支援 ・生活の中でのリハ
基準	・家族等による早期搬送要請 ・救急隊の早期到着，情報収集，初期対応施設または急性期医療施設との連絡調整 ・適切な医療機関への搬送	・CT等による速やかな診断体制 ・手術，t-PA治療等の適応の判断，適応例については速やかな実施，或いは対応機関と直ちに連携	・診断，手術，t-PA治療もしくは血栓回収術の治療体制 ・治療に関する検査設備や専門医の体制整備	・リハビリ施設の整備	・生活機能の維持向上のためのリハ ・認知症への対応可能	・生活の場での療養体制 ・認知症への対応可能 ・各診療科医との連携
連携	・医療機関情報の共有，地域連携クリティカルパス，合同カンファレンス等による連携					
機関例	・救急隊	・地域支援病院 ・救急告示病院 ・輪番病院	・地域支援病院 ・救急告示病院 ・輪番病院	・回復期リハ病棟 ・リハ機能を有する機関	・療養型病床 ・有床診療所 ・介護老人保健施設	・在宅支援診療所 ・中小病院 ・診療所

[南薩地域振興局作成]

**救 急**

**A 初期対応（救急診断）**

- ①直ちにCTが撮影できる。
- ②60分以内にt-PA（血栓溶解）治療施設または脳外科と連携がとれている。
- ③診療ガイドラインに則した診療を実施している。
- ④転院・退院調整機能を持ったスタッフがいる。（専任の必要はない）

例：救急告示病院，夜間輪番病院，脳外科標榜施設，神経内科標榜施設

**B 急性期施設（救急医療機能）**

- ①直ちにt-PA（血栓溶解）治療もしくは血栓回収術の治療ができ，または脳外科手術の体制が整備されている。
- ②直ちにCTが撮影できる。
- ③t-PA（血栓溶解）治療もしくは血栓回収術の治療に関して，レントゲン，血液検査等の設備や専門医の体制が整備されている。
- ④診療ガイドラインに則した診療を実施している。
- ⑤退院時カンファレンスまたは共同指導体制が望まれる。
- ⑥地域のケアマネージャーと連携がとれていることが望まれる。
- ⑦転院・退院調整機能を持ったスタッフがあり，転院・退院に際し，患者および家族を精神的にサポートしている。（専任の必要はない）

例：地域医療支援病院，救急告示病院

**C 回復期施設（身体のリハビリ回復体制）**

- ①回復期リハビリ病棟，リハビリ機能を有する病院・診療所（脳疾患リハの資格がなくても可能）
- ②診療ガイドラインに則した診療を実施している。
- ③歯科医との連携が望まれる。
- ④地域のケアマネージャーと連携がとれていることが望まれる。
- ⑤転院・退院調整機能を持ったスタッフがあり，転院・退院に際し，患者および家族を精神的にサポートしている。（専任の必要はない）
- ⑥転院時および退院時カンファレンスが望まれる。

例：回復期リハビリ病棟，リハビリ機能を有する病院・有床診療所

**D 維持期入院施設（日常生活への復帰・維持リハビリ体制）**

- ①日常生活への復帰を目的としたリハビリを実施，認知症への対応ができる。
- ②診療ガイドラインに則した診療を実施している。
- ③歯科医との連携が望まれる。
- ④地域のケアマネージャーと連携がとれていることが望まれる。
- ⑤入退院・転院調整機能を持ったスタッフがあり，転院・退院に際し，患者および家族を精神的にサポートしている。（専任の必要はない）

例：療養型病床，有床診療所，介護老人保健施設

**E かかりつけ医施設（生活の場での療養支援体制）**

- ①生活の場での療養支援体制，認知症への相談にのれ，各診療科医と連携がとれる。
- ②診療ガイドラインに則した診療を実施している。
- ③地域のケアマネージャー，介護福祉サービス，薬局，歯科などと連携がとれていることが望まれる。

例：在宅支援診療所，中小病院，診療所